

こどもが創るこどもの村「ミニヨコアートビレッジ」&U-19 シンポジウム  
In in BankART LifeⅢ「新・港村」 実施報告書  
～マザーポートエリア活性化推進事業認定事業～

日程:2011年8月10日(水), 12日(金)～14日(日)

実施時間:午前11時30分～午後5時(11日(木)は、休館日)

会場:トリエンナーレ特別連携企画 新港ピア(神奈川県横浜市中区新港2-5)

主催:NPO法人ミニシティ・プラス+特定非営利活動法人I Love つづき

共催:BankART1929

後援:横浜市文化観光局 神奈川県

会場プロデュース:遠藤幹子 office mikiko

協力:office mikiko 日本の竹ファンクラブ 横浜建設業青年会 カゴメ(株) 富士食品(株) 都筑へーベスト  
大川印刷 オリエンタル産業(株) 中川ケミカル 日本理化学工業(株) JA横浜 H1カフェ 横浜市立大学  
関東学院大学 東京都市大学環境情報学部 中川駅前商業地区振興会

U-19シンポジウムはJT(日本たばこ産業株式会社)の青少年に関するNPO助成事業です。

(新・港村会場は、19時まで、他の展示を楽しめます)

8月10日 村づくりワークショップ参加 50名。入場者数 150名

(13時～15時家づくり)

8月12日 村づくりワークショップ参加 50名。入場者数 150名

8月13日 村づくりワークショップ参加 20名。入場者数 100名

8月14日 村づくりワークショップ参加 20名。U19シンポジウム参加 50名 入場者数 100名

(15時～17時U19シンポジウム)

【計:690人来場】

ミニヨコアートビレッジ

◇お店の種類

受付、衣装屋さん、銀行、フルーツカクテルバー、野菜すうぶ屋、Tシャツ工房(竹のティピにテントを縫う)、ひるね屋(枕や居場所をつくって寝る)、電気屋さん(LEDの照明をつける)、大工(家を建てる)、家具屋さん(椅子づくり、カーペットづくり)、やぎさんづくり。

◇参加費他

トリエンナーレ会場費、大人はスープ&フルーツカクテル 100円。こどもは10ミニロ(15分働くともらえる)

◇PR, マスコミ報道などについて

ヨコハマ経済新聞

<http://www.hamakei.com/headline/photo/6303/>

朝日新聞

[http://mytown.asahi.com/kanagawa/news.php?k\\_id=15000001108120005](http://mytown.asahi.com/kanagawa/news.php?k_id=15000001108120005)



骨組みだけのハウスを力を合わせて、建設しました。



建築家の遠藤幹子さんと、村の動物、やぎさんを新聞でつくりました。



カクテルと野菜スープ。どちらも好評でした。



8月14日 15時～17時 U-19シンポジウム

司会 三浦絢佳、中絢音 司会アシスタント 瀬和麻理奈(いわき市からインターン)

パネリスト

|         |     |                            |
|---------|-----|----------------------------|
| 磯部 龍真   | 名古屋 | だがねランド                     |
| 佐藤 まりな  | 相模原 | エンジョイ スマイル さがみ(ミニシティさがみはら) |
| 川上 華菜子  | 相模原 | エンジョイ スマイル さがみ(ミニシティさがみはら) |
| 尾崎 昭仁   | 高知  | とさっ子タウン                    |
| 五十嵐 めぐみ | 仙台  | 仙台こどものまち                   |
| 城庵 颯    | 大阪  | ミニ☆大阪                      |
| 内海 菜々花  | 千葉  | 千葉こどものまち CBT               |
| 勝山 直毅   | 市川  | ミニいちかわ                     |
| 片山 広大   | 横浜  | 戸塚ファンクラブ                   |
| 百崎 佑    | 横浜  | ミニヨコ                       |
| 菱山 光輝   | 横浜  | つづきジュニア編集局                 |
| 安達妃美    | 神奈川 | 神奈川県特命こども委員                |

15:00 自己紹介・まち(活動)紹介 全体で20分  
(事前打ち合わせ時に4分割にしたフリップに記入)

自己紹介フリップ ↓

|                                    |                         |
|------------------------------------|-------------------------|
| どのまちから来た?<br>(区、町単位)               | まちのうまいもの、イチ<br>オシのおみやげ  |
| まちのなかで、イチオ<br>シの建造物(道でも橋<br>でも塔でも) | まちのなかで、こども<br>たちが集まるところ |

まち(活動)紹介フリップ ↓

|                                  |                                  |
|----------------------------------|----------------------------------|
| こどものまちの名称<br>(活動の名称)             | こどものまちを実施し<br>ている会場<br>(主な活動場所)  |
| こどものまち市民の主<br>な年齢層<br>(活動仲間の年齢層) | こどものまちが始まっ<br>て何年?<br>(活動始めて何年?) |

15:20 「こどものまちのトピック」

人気の店、人気の職業、他にはない珍しい店・・・などからアピールしたいものひとつを発表。

15:30 「こどものまちにかかわったことによる自分の変化」

15:40 「こどものまちでの、大人とのかかわり」

15:50 「こどものまちのいいところ」(事前打ち合わせ時にフリップに記入) 全体で30分

- 「どうしてこどものまちは楽しいのか?面白いのか?」、「どうしてこどものまちでは『しごと』をがんばれるのか?」等の問いかけから、例えば「大人が口出し禁止だから」「好きな仕事を選べるから」「失敗してもやり直せるから」「自分のアイデアで好きにつくれるから」等、「いいところ」としての、こどものまちの本質を引き出す。
- そしてそれらこどものまちのエッセンスが現実の大人社会あてではめるとどうなっているのか、また現実社会でも実現できるのか、会場の大人にもインタビューしながら検証・議論する。

16:20 「自分たちが大人になったとき、どんな社会を実現したいか」 全体で30分

- 前段のやり取りを振りかえって、例えば「たのしいこと、かわいいものがまち中にあふれていてわくわくする」「地域のだれもが仲良くしている」「苦手なことはみんなで助け合う」「偏差値や学歴に関係なく、誰もが自分の特技を活かして働ける」「肩書きとか上下関係なくフラットで意見が言いあえる」「やるべきこと=やりたいこと、になる」

など、様々なアプローチや視点からの「地域社会の在り方」や「働き方」「暮らし方」への提言を引き出す。全体をひとつにまとめることはなく、それぞれが目指すところを尊重して終わる。

16:50 記念撮影

終了後、交流会(U-19 パーティー) 18:00~19:00



全国からこどもの代表が集まりました。



活発な意見交換がされました。



聴講の大人は口出し禁止マスクをつけてもらいました



大人からいろいろな質問がでて、パネリストのみなさんに答えてもらいました。  
最後に司会者や司会アシスタントからも自分の想いを発表してもらいました。





最後にパネリストが記念撮影。



交流会も同じ会場のカフェで。

今回の村ができるようす、シンポジウムのようなようすなどをまとめ、新港ピア会場に展示予定です。